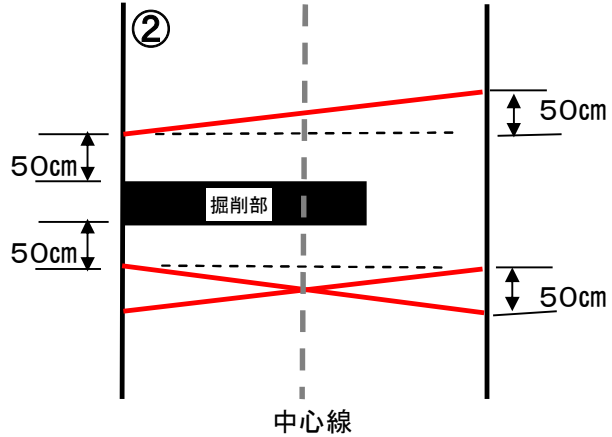
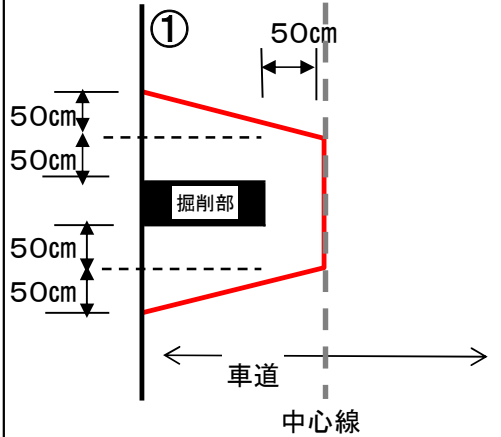


掘削等による道路の復旧について
(舗装幅員が3m以上の道路)

センターラインが無い道路

復旧巾が道路幅員の半分以上の場合: 全面復旧

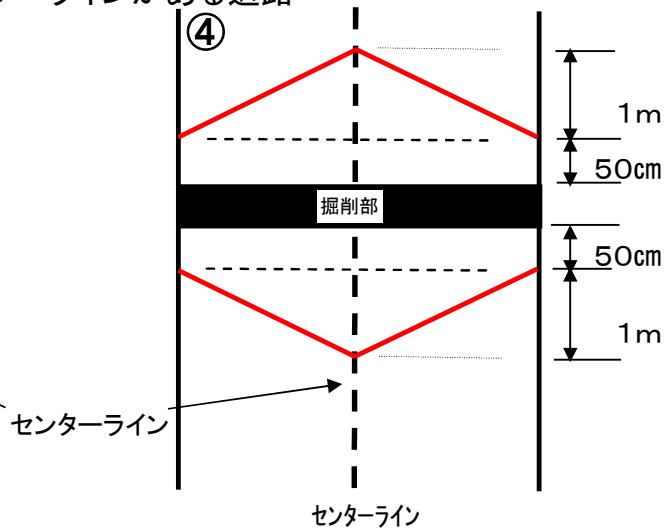
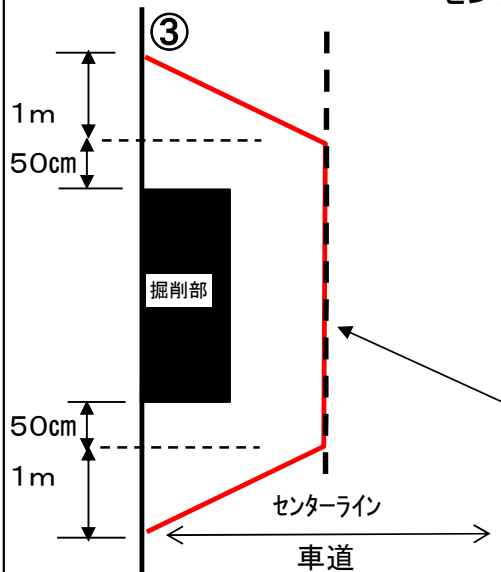
復旧巾が道路幅員の半分以上の場合: 全面復旧



※掘削部が、道路に対して斜めの場合、右図のとおりとする。



センターラインがある道路



舗装幅員が3m未満の道路及び歩道については、掘削幅に対し、両側50cmを影響幅とし、長方形(50cm+掘削幅+50cm)で全幅復旧するものとする。

複数箇所の復旧で間隔(復旧しない部分)が5m未満の場合、間隔部分も復旧するものとする。また、復旧が1か所でも道路終端部及び打ち継ぎ目等までの間隔が5m未満の場合も復旧するものとする。

開発道路(寄付道路)は市道認定から2年間は、延長5mの全面復旧するものとする。